

# 「あかイトマト かわいいね！」

4・5歳児～小学校低学年

ねらい 栽培活動を通して植物の生長に関心を持ち、育てる喜びを感じるとともに、自ら収穫することで食への関心を深め、感謝の気持ちを持つ。

## 気づく

### トマトの栽培をしよう

トマトの苗を触ったり、匂いをかいだりしながら関心を持ち、どんなふう  
に育つか楽しみにして、一人一鉢栽培をする。

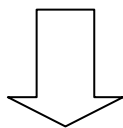
毎日水やりをすることでトマトの実の生長に気づき、見たことや思ったこ  
とを先生や友だちに話す。

#### 留意点

- ・地域の人との出会いの場面を大切に、感謝の気持ちを持ち、栽培に関心を持たせ  
る。

「これなあに？  
とげとげがあるよ。  
匂いがするよ。」

地域の人から  
トマトの苗を  
分けてもらう。  
トマトや野菜  
が載っている  
図鑑や絵本を、  
絵本コーナー  
に置いておく。



## 広げる・深める

### トマトの色が変わってきたよ

トマトが赤くなってきたことに気づき、友だちのトマトと比べたりしな  
がら、収穫を楽しみに待つ。また、野菜に関する絵本などを読み、食への  
関心を深める。

#### 留意点

- ・水やりをする子どもたちのつぶやきや発見を取り上げ、みんなに伝えることで  
関心を広げさせる。
- ・絵本を通して、野菜の苦手な子にも「野菜は栄養がいっぱいある」ことなどを  
知らせる。

「ばばちゃん  
やさいがいつ  
ぱいだ」(文研  
出版)や食育紙  
芝居など

「ぼくのトマト、  
だらーんとしてる」



## 計画する

# トマトの実を守ろう

赤いトマトがカラスに食べられ、いくつも穴があいていることに気づき、どうしたらよいか話し合う。

### 留意点

- ・子どもたちの残念な思いを受け止めつつ、カラスを責めるばかりではなく、カラスの立場でも考えさせる。
- ・トマトを守るにはどうしたらいいか、畑の様子や、祖父母などの話から、家庭生活につなげる。

カラスなんか  
きらいや！

クラス便りで栽培の様子などを知らせ、家庭との連携を図る。

## 実践する

# カラスよけをつくろう

畑の様子や祖父母などの話から「カラスよけ」があることを知り、みんなで作るための話し合いをする。

### 留意点

- ・子どもたちの発想を生かしながら「カラスよけ」の材料を用意し、作業を通して「自分のトマト」を守ろうという愛着を持たせる。
- ・「カラスさんお腹すいたかな」、「ひとつだけなら食べてもいいよ」という子どもたちのつぶやきを大切にする。

「ひとつだけなら、  
たべてもいいよ！」



## 振り返る

# おじさんありがとう！トマトさんありがとう！ おいしかったよ

トマトが大きくなる様子を表現遊びで楽しんだり、絵に描いたりして収穫の喜びを楽しむ。

苗をわけてもらったおじさんに収穫の報告をし、感謝の気持ちを伝える。さまざまな動植物と接することで、私たちと同じように「命」があることに気づき、「命」をいただいていることに感謝する。

### 留意点

- ・夏休み中も引き続き収穫や世話ができるように、子どもたちががんばって育てた様子を伝え、家庭生活につなげる。
- ・いろいろな食べ方があることを知り、食への関心を持たせる。

絵本「おとなりのエーメさん」(ポプラ社)

トマトの料理がたくさん出てくるので、トマトの苦手な子たちも興味をもって見られるよう、楽しい雰囲気を作る。

絵本「いわしくん」(文化出版)いろいろなものから「栄養」をもらって生きている。ありがとうという気持ちを持たせる。

「いわしくんがかわいそうや」「ぼくらは食べな、生きられん」

